

水辺空間活用（舟運）ワーキンググループ（第8回）
「平成31年度の取組内容」

平成31年3月26日

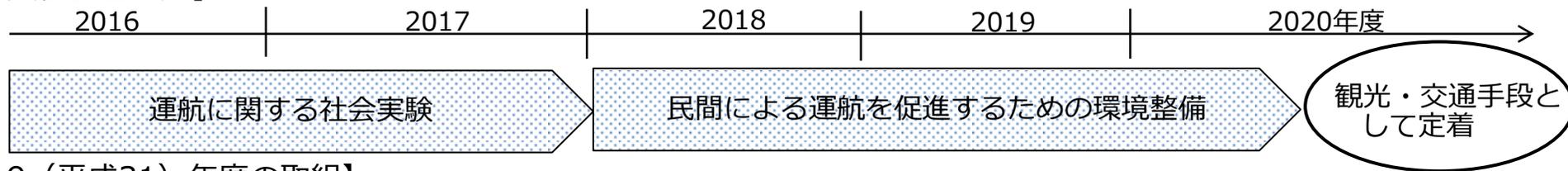
目 次

「平成31年度の取組内容」

1	平成31年度の取組について	-----	1
2	平成31年度の主な取組内容	-----	2

1 平成31年度の取組について

【全体スケジュール】



【2019（平成31）年度の取組】

	2018（平成30年度）	2019（平成31年度）
認知度の向上	舟運の活性化に向けたPRの実施	
	パンフレット	新たなターゲット（訪日外国人、女性、若年層など）に向けたPR
	PR動画	
魅力の向上	舟運情報の集約・発信	舟運のポータルサイトとしての利用促進、SNSでの発信強化
	船着場周辺のにぎわいと連携 イベントに合わせた臨時便等の企画・調整・実施	観光資源やイベント等と連携した、新たな臨時便の企画・調整・実施
利便性の向上	分かりやすい案内サインの整備	各施設管理者による案内サイン整備
	案内サインの試行設置	
新規航路の模索	水上交通ネットワークの検討	交通手段としての需要予測・採算性の検討
	舟運活用の可能性検討	
		通勤等への活用に関する調査運航等

2 平成31年度の主な取組内容

認知度の向上：舟運の活性化に向けたPRの実施

- 女性や訪日外国人など、新たなターゲットに向けて舟運や水辺の魅力を周知するパンフレット等を作成
- ハッシュタグに工夫を加えるなど、SNSを効果的に活用し、訪日外国人、若年層等へ向けた舟運のPRを積極的に発信
- ホームページの掲載情報の充実により、舟運のポータルサイトとしての利用促進



SNS活用イメージ

魅力の向上：船着場周辺のにぎわいと連携

- 水辺の観光資源や船着場周辺のイベント等と連携した、新たな臨時便等の企画・調整・実施
 - ・橋のライトアップや船着場周辺の観光を楽しめる、夜間の臨時便
 - ・「ハシダンシ」等を活用した、船着場の周辺地域と舟運との連携
- 東京2020大会期間中の運航に関する検討
 - ・船着場、水域の制約、運航への影響把握
 - ・期間限定での航路の可能性の模索など

新規航路の模索：水上交通ネットワークの検討

- 交通手段としての舟運活用の可能性に関して、平成30年度に実施した基礎調査の結果を踏まえ、需要予測や採算性の検討などを実施
- 通勤等への活用には有効なルートや時間帯を想定した調査運航等により、利用者のニーズに関するデータを収集